

2020年度 万代基金 報告書



コロナ禍の青山キャンパス：堀田理事長撮影(2020年6月)

ご寄付いただいた皆様に感謝を込めてご報告いたします。



学校法人 青山学院

万代基金の2020年度の資金の流れは以下のとおりです。

2020年度 収入

2020年度寄付金収入

9億9,162万708円

万代基金

7億4,477万7,708円

(内コロナ支援募金
1億4,781万3,573円)

その他(教育充実資金等)

2億4,684万3,000円

2020年度万代奨学金返済収入

3億439万6,957円

2020年度受取利息配当金

2億7,528万5,265円

2019年度以前にいただいた ご寄付から追加配分



給付型奨学金の増強

経済的理由により、学べない、留学できない学生・生徒を出さないために、給付型奨学金を拡充強化します。青山学院で学べてよかったと心から思える卒業生を輩出します。

給付型奨学金に追加配分※
1億円



教育研究資金の増強

世界を視野に、より良い教育・研究と社会貢献の実現に向け邁進します。社会により良い未来への道筋を示しリードする青山学院を目指します。

AOYAMA VISIONに追加配分※
1億円



万代基本基金(運用型)の増強

中長期的な発展のために貯蓄し、金融資産として運用します。運用益は、奨学金や教育研究資金などの原資を長期的かつ安定的に確保していくために用います。

万代基本基金に追加配分※
1億950万5,127円

2020年度 支出

奨学金支出

奨学金給付

17億5,362万9,815円

ただし、オンライン授業環境整備給付金8億9,490万円および高等教育の修学支援新制度による授業料等減免費交付金の受領に基づく奨学費4億728万2,000円を含みます。

(内寄付金による奨学金給付
1億9,263万5,000円)

奨学金貸与

2,224万8,000円

教育・研究のための支出

AOYAMA VISIONに消費

1億5,316万9,902円

その他の教育研究に消費

5億2,197万271円

万代基金運用資産の増加

万代基本基金の増加

2億5,964万9,127円

その他の増加

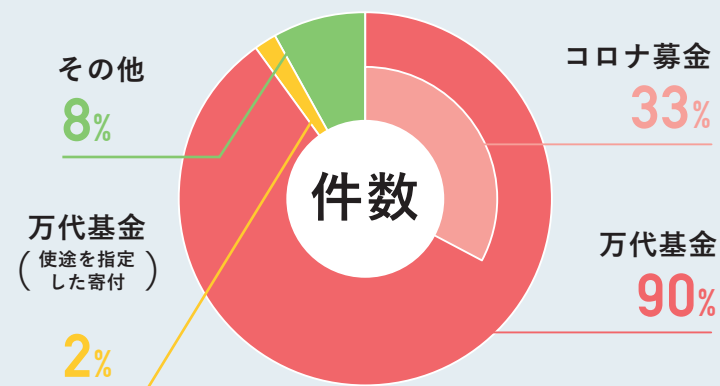
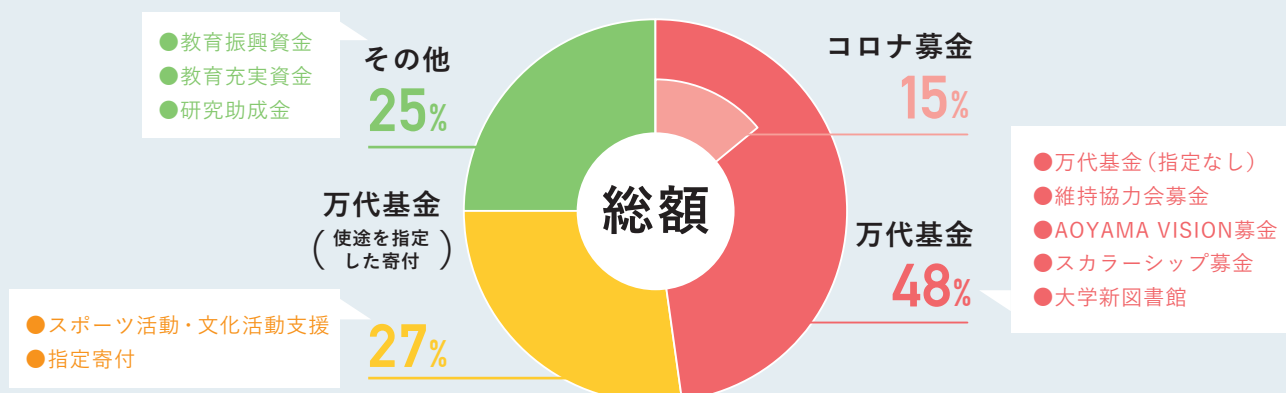
1億3,698万679円

2020年度ご寄付の状況をご報告いたします。

米ドルで69,951ドルのご寄付が含まれております。米国在住の方はGive 2 Asia経由のご寄付で、寄付金控除を受けられます。

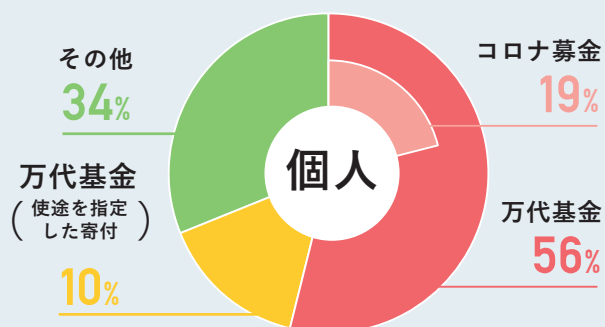
9億9,162万708円

11,164 件

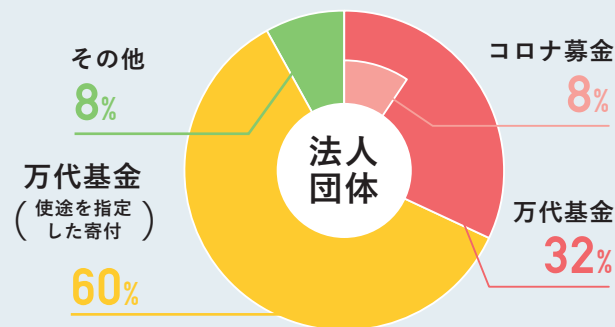


※総額の内訳

6億4,914万7,062円



3億4,247万3,646円



皆様のご寄付により2020年度万代基金が本格稼働しました。

皆様からのご寄付で奨学金を給付することができました。

従来型のご寄付による
給付実績は以下のとおりです。

給付人数 **1,638人**

給付額 **1億9,263万5,000円**

給付型奨学金の増強が若者を支えます。

青学生が1年間に背負う借入総額は…

25億6,075万7,000円にもなります。

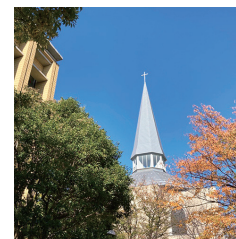
2020年度、3,306人の青学生（大学・大学院）が、約26億円もの貸与型奨学金を日本学生支援機構（JASSO）に対して申し込んでいます。学生は大きな負債を背負って社会に出ていくことになり、卒業後約15年前後をかけて返済しています。卒業後も重い負担となる貸与型奨学金が社会問題にもなりつつある現在、万代基金で対応できるように給付型奨学金を充実させることが必要となります。

若者の未来を支えるために、皆様からのあたたかいご理解・ご支援を引き続きお願いいたします。

支えていただいた分、今度は支える側になりたいです。

アルバイトの収入で生活をしているため、居酒屋やホテル・塾講師・店舗販売員・派遣型アルバイトなど複数のアルバイトをしており、夜遅くまで働き、翌日の授業に支障が出てしまうことがありました。必ず自炊をし、食費が掛からないように工夫していますが、一時は体重が落ちてしまったこともありました。コロナ禍でアルバイトができない不安がありましたが、いただいた奨学金のおかげで、本当に助かっています。

大学では証券市場の成り立ちと証券投資の理論について勉強しており、海外のビジネススクールに行くことが目標です。このご恩を忘れず、私も将来社会で活躍し、寄付ができる人になれるよう努力します。



学生の声

青山学院は私にとってとても大切な場所です。

父親と別居しており、現在は母親と姉と3人で生活しています。母親が外国出身のため、言葉のハードルなどがあり安定した仕事に就くことが難しく、経済的に余裕がない状態でした。学費と生活費はJASSOでの貸与型奨学金と、平日朝・夜はカフェ、休日は結婚式場などでアルバイトをして賄っていました。忙しい日々ですが、先生や先輩、クラスメイトと共に学ぶことが本当に楽しく充実していて青山学院は自分の人生に無くてはならない大切な存在です。

奨学金をいただき、精神的な負担が軽くなると同時に、青山学院での学びを応援してくださるたくさんの寄付者の方がいらっしゃるということが大きな心の支えになりました。卒業後は中学校の理科の教員を志望しています。勉強を教えるだけでなく、自分と同じように家庭の事情や経済状況で苦しんでいる生徒を助け、夢を後押しできる存在になりたいと思っています。



学生の声
（理工学部4年生）

新型コロナウイルス緊急支援募金にご支援をいただきました。

2020年、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスにより青山学院も約2か月間の学院閉鎖、分散登校、オンライン授業の実施、行事の延期及び中止等、様々な影響を受けました。家計急変、経済困窮の青学生を救うべく、緊急支援の募金を呼び掛けたところ校友の方を始め、保護者の皆様、企業の皆様、教職員より多くのご支援を賜りました。困難なときこそ寄り添ってくださる皆様の優しさが青学生の未来を支えています。たくさんのご支援に心より感謝申し上げます。

ご寄付
累計

3,706件 1億4,781万3,573円

たくさんの心温まる
ご支援を賜りました
心より御礼申し上げます。



1,292名の学生に緊急支援奨学金を給付することが出来ました。



ご寄付とともにたくさんのエールを頂戴しました。

「困難な状況にある学生の皆さん。我々校友は、皆さんを心配しながら静かに見守っています。心ばかりですが寄付させて頂きました。少しでも、お役に立てればと思います。」

「人生いろいろなことが起こります。困ったときには、遠慮しないで誰かに助けてもらって前に進んでください。その分、自分が大丈夫な時には困っている誰かを助けてあげてくださいね。」

「今回のコロナ禍から多くの苦勞が生まれましたが、どうか負けないで、学校・大学を辞めずに済むよう祈っています。なんとか続けられますように。」

「会社経営をしています。起業時も経営危機に直面した時も青学同友に助けられ、今の僕があります。青春時代の友情は人生の宝物です。後輩の一助になれば幸いです。」

この他にも寄付者様より
多くの温かいメッセージをいただいております。

青山学院 コロナ募金 検索

学生からの感謝のメッセージをご紹介します。



堀田理事長・阪本学長、ならびに学生3名より動画にて感謝の声をお届けします。メッセージ動画は右のQRコードよりご覧ください。



総合文化政策学部 4年生

「通学に往復3時間掛かり、3年生の進級を前に勉強と部活に集中したいと思い都内にアパートを借りましたが、緊急事態宣言により部活動も制限を余儀なくされ、家賃が大きな負担となってしまいました。高校生の時から青学卓球部に憧れており、今は自分が副キャプテンをしています。コロナ禍で試合がなかなか出来ませんが、今度は自分たちが後輩から憧れの存在になりたいと思っています。」



経済学部 4年生

「家計支持者である母はスポーツインストラクターをしています。コロナ禍で仕事が減り、経済的に不安を抱えておりました。オンライン授業になり、パソコンで先生の講義を聞きながらスマートフォンで資料の確認と、オンライン環境の維持は授業のために必要不可欠であり、維持費用も掛かります。奨学金はタブレットや資料印刷用のプリンターを購入させていただきました。」



国際政治経済学部 1年生

「2020年度入学生ですが、入学後、1度も青山キャンパスに通えず、後期もオンライン授業が決定したときはパソコンの前で茫然としてしまいました。地方でオンライン授業を受け続けることは、友達とのコミュニケーションも十分に取れず大きな不安がありました。奨学金をいただけたことで、不安な自分に手を差し伸べていただけたように思い、大変感謝しています。」

皆様からのご寄付のうち、 教育研究資金には次のように使わせていただきました。

AOYAMA VISION 4 Challenges ——— 2020年度の取り組み



多様化する教育ニーズへの対応

スポーツを通じて社会に貢献する人材やソリューションを提供する学内体制の構築

世界と
未来を
拓く教育



世界に誇る
知的
インフラ

施設整備・教育研究環境の充実

大学新図書館棟の建設

日本赤十字社と
ボランティア・パートナーシップ協定を締結

国際社会における人道的課題に

取り組むボランティアの育成

世界が
求める
社会貢献

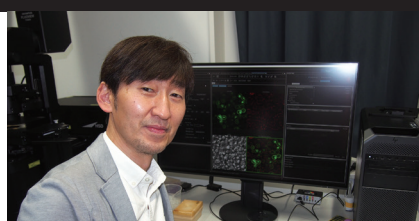


ジェロントロジー（老年学）の学際研究

世界を
リードする
研究



先端研究への挑戦と次世代研究者の育成



生命システムの
動態計測と
複雑系解析における
革新的基盤形成

感謝のメッセージ



新図書館棟の建築にあたって

大学 学長
阪本 浩

青山学院大学は、青山キャンパスに新図書館棟の建築を計画しています。新図書館では、学習空間や支援の提供、研究教育基盤を支える学術資源の拡充、研究活動に資する環境の整備などを具現化するためのゾーニングや施設・付帯設備を取り入れた建築計画が進行し、2024年を完成予定としております。

皆様からのご寄付に感謝申し上げますとともに、研究・学習活動の拠点形成のため使用させていただきます。



相模原から世界へ— 研究で社会貢献を

大学 理工学部化学・生命科学科 教授
阿部 文快

2020年秋、私たちの研究論文が英国科学誌「Journal of Cell Science」に掲載されました。高水圧で活性化する酵母菌のセンサーの発見です。10年もの歳月を費やし、なおも立ちはだかる壁を突破できたのは、ひとえにAOYAMA VISIONの貴重な研究資金によるものです。これを機に、本年4月にはアサヒクオリティー アンドイノベーションズ(株)との共同研究がスタートしました。ご寄付いただきました皆様に心から感謝しつつ、青学発信の研究で社会貢献を目指す所存です。

皆様のご協力で2020年度も たくさんの“つながり”が生まれました。



プレゼント付き寄付が「青学ギフト」としてリニューアル

2018年度よりスタートいたしましたプレゼント付き寄付キャンペーンが大好評につき、「想いがつながる青学ギフト」としてリニューアルいたしました。

ご寄付いただいたみなさまへの感謝を込めて、校友（卒業生）の方々にご協力いただき、食品、雑貨、お酒、お花など想いのつまった「青学ギフト」をご用意しております。

デジタルカタログもご用意しておりますのでぜひご覧ください。



寄付者様よりメッセージをいただいております

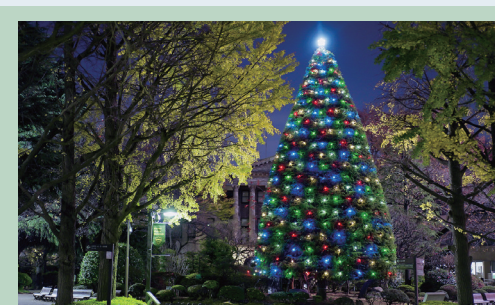
私自身も短大在学中に奨学金制度を利用していたので、今回のこの素敵な企画にほんの少しでもお手伝いが出来ればと思い参加させて頂きました。

寄付することで母校のマークの入ったプレゼントが頂けたりと、私自身もとても嬉しい気持ちです。（1997年女子短期大学英文科卒業生の方より）



理事長主催 「感謝の催し」

毎年恒例の理事長主催「感謝の催し」は大変残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み中止といたしました。感謝の気持ちとしまして100万円以上のご寄付をくださった方に青山学院特製風呂敷をお贈りしました。



クリスマスキャンペーン

アドベントの時期に寄付者様へオリジナルクリスマスカードをお送りしました。万代基金へご協力をお願いし、1,037件、約520万円のご寄付をいただきました。また青山学院の大切な行事のひとつでもあるクリスマス・ツリー点火祭はオンライン配信となりました。



駅伝応援キャンペーン&駅伝感動をありがとう!キャンペーン

皆様からのご寄付とともに応援メッセージを募り、応援旗として選手たちへ渡しました。498件、約300万円のご寄付をいただきました。



寄付者インタビュー 青学ファミリーからのメッセージ

各界でご活躍されている寄付者の方へのインタビューを行いました。ウェブサイトに掲載中です。

青学ファミリーからのメッセージ 検索



理事長・院長より皆様に御礼申し上げます。

一人ひとりを 大切にする教育

-感謝とご支援のお願い-

理事長

堀田 宣彌



皆様には平素より青山学院の募金事業に多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。万代基金は青山学院で学ぶ人たちのために創設されました。志ある若者の経済支援に心を砕いた万代順四郎氏の遺志を受け継ぎ、「給付型奨学金の増強」、「教育研究資金の増強」、「万代基本基金（運用型）の増強」を三つの柱としております。2020年度は、経済的に困窮している学生・生徒等のための「新型コロナウイルス緊急支援募金」を加えた募金企画に、結果として9億9千万円強のご支援を賜りました。改めて御礼申し上げます。

教育・研究活動の充実・発展には財政基盤の安定が欠かせません。AOYAMA VISION計画の実行、実現のため、改めてご協力をお願いする次第です。

新経営宣言のテーマ「Be the Difference」は学院が求めている「一人ひとりを大切にする教育」そのものです。これからも個性を大切に、各自がサーバント・リーダーとして世界に羽ばたいていけるよう学院はその実践に全力を挙げてまいります。

すべての人と社会のために

院長

山本 与志春



新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちは今まで経験したことのない事態に直面しています。繰り返し緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルス感染を防ぐために外出を避け、人との距離を取り、多人数の会食をしないことが求められています。

イエス・キリストは、人々が近寄ることを避けていた病人や、嫌われていた「罪びと」の家に外かけていきました。イエス・キリストが出会った人は、弱り苦しむ人、疎まれ蔑まれていた人、差別されていた人たちでした。イエス・キリストは、私たちにも自ら進んで、互いに仕え合い、支え合うことを求めています。痛みや苦しみに共感し、協力するところから、慰めと励まし生まれ、喜びと感謝の心から、共に生きる平和な世界が生まれます。

新型コロナウイルス緊急支援募金では3,706件、1億4千万円を超えるご支援をいただき、1,292名の困窮していた学生に奨学金を給付することができました。皆様の温かい心に衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

「愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人」を育てることを教育方針としている青山学院は、社会が抱える諸問題とともに担い合うために、貧困や差別のない、安全で安心して暮らせる社会を作るための研究と教育を進めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

I LOVE
青学

青山学院は

いつもあなたと共に

青山学院の最新情報がチェックできる楽しいメールマガジンを配信しております。



ご登録をご希望の方は、
右記QRコードから手続き
をお願いいたします。

登録無料



学院連携本部
Facebookでも
最新情報発信中!!



Be the Difference®

“世界は一人ひとりの力で変えられる”

この募集は、青山学院万代基金の給付型奨学金（フィナンシャル・エイド）と教育研究資金（AOYAMA VISION）の充実に資することを目的として、校友、保護者、教職員、お取引先などすべてのステークホルダーの方々に広く年間を通じて常時ご支援いただけるようご案内するものです。なお、寄付金の対価として、何らかの利益または便宜供与を条件とされる場合は、ご寄付の受領を辞退させていただきますので、ご了承ください。

詳細はお気軽にお問い合わせください。

学校法人青山学院 学院連携本部

〒150-8366
東京都渋谷区渋谷4-4-25

Tel. 0120-900-420

✉ ag-info@aoyamagakuin.jp



事務室移転のお知らせ

学院連携本部事務室は、2021年3月より女子短期大学南校舎1階に移転いたしました。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



2021年6月発行